

平成21年3月期 決算説明資料

株式会社 焼肉屋さかい

※平成21年8月1日より、株式会社さかいに商号変更いたしました。

平成21年9月

会社概要 (平成21年3月末現在)

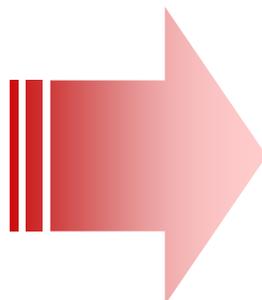
- 【 商 号 】 株式会社焼肉屋さかい (平成21年8月1日より株式会社さかいに商号変更いたしました。)
- 【 本社所在地 】 愛知県名古屋市北区黒川本通2-46 黒川ビル3F
- 【 設 立 】 昭和55年5月
- 【 資 本 金 】 17億20百万円
- 【 従業員数 】 正社員 184名
- 【 売 上 高 】 101億66百万円(非連結)
- 【 店 舗 数 】 直営 91店舗 FC 81店舗
- 【 事業内容 】 焼肉屋さかい、炭火焼肉屋さかい、和牛焼肉坂井
しゃぶしゃぶすきやきさかい、ポテッチ、とりボックス
上記業態の直営店舗運営ならびに
フランチャイズチェーン本部運営

当社の事業構造

平成21年3月31日 現在

平成20年3月31日 現在

直営店運営・フランチャイズチェーン本部運営	焼肉業態	焼肉屋さかい 炭火焼肉屋さかい 和牛焼肉坂井	兄弟会社へ 事業譲渡
	鮮魚料理業態	まるさ水産	
	喫茶業態	元町珈琲	
	鶏料理業態	とりボックス	
	ファーストフード業態	ポテッチ	
	新業態	しゃぶしゃぶすきやきさかい	



直営店運営・フランチャイズチェーン本部運営	肉業態	焼肉屋さかい	「肉事業」に特化 平成21年4月には、 低価格焼肉新業態 「大阪カルビ」を展開
		炭火焼肉屋さかい	
		和牛焼肉坂井	
		牛丼屋さかい	
	しゃぶしゃぶすきやきさかい		
	鶏料理業態	とりボックス	
ファーストフード業態	ポテッチ		

- 「まるさ水産」事業
株式会社ジー・フード及び株式会社グローバルアクト(共に兄弟会社)に事業譲渡いたしました。
- 「元町珈琲」事業
株式会社スイートスタイル(旧兄弟会社)に事業譲渡いたしました。
- 「牛丼屋さかい」事業
新業態として事業運営を開始いたしました。

トピックス

- 2008年 9月 「しゃぶしゃぶすきやき清水」を「しゃぶしゃぶすきやきさかい」にリニューアル
- 2008年10月 「牛丼屋さかい」の運営を開始
「一牛」店舗を株式会社ベンチャー・リンクより譲受
「まるさ水産」及び「元町珈琲」事業を兄弟会社に譲渡
- 2008年12月 第三者割当により新株式 1,500,000株 を発行（資本金17億14百万円に増資）
- 2009年 3月 第三者割当により新株式 100,000株 を発行（資本金17億20百万円に増資）
- 2009年 4月 「大阪カルビ」の運営を開始

【注目の新業態】大阪カルビ



低価格業態の「大阪カルビ」は199～399円（税抜き）を軸とした安値で、満腹になるまで焼肉をお楽しみいただけます。

■牛丼屋さかい



牛丼(並)が310円(税込)。うまい！やすい！早い！が自慢。名物は「焼肉屋さかい」で培った肉の仕入れや調理技術を生かした「焼肉牛丼何度食べても飽きない旨さ！



2008年10月1日に1号店をオープン。現在は直営2店舗、FC1店舗を運営。

■しゃぶしゃぶすきやきさかい



2008年10月1日より屋号を「しゃぶしゃぶすきやきさかい」に変更。現在は直営3店舗を運営。

贅沢気分のしゃぶしゃぶ・すきやきを単価1,700円という、リーズナブルな価格で楽しむ。これが「しゃぶしゃぶすきやきさかい」の魅力です。

平成21年3月期 貸借対照表

(単位:百万円)

区分	決算期			当期		前期	
		構成比	増減		構成比		構成比
流動資産	749	13.6%	△ 183	932	14.8%		
現金及び貯金	85	1.5%	△ 194	279	4.4%		
棚卸資産	58	1.1%	△ 39	97	1.5%		
その他の流動資産	605	11.0%	49	556	8.8%		
有形・無形固定資産	3,450	62.5%	△ 543	3,993	63.5%		
投資その他の資産	1,238	22.4%	△ 124	1,362	21.7%		
資産合計	5,516	100.0%	△ 772	6,288	100.0%		
流動負債	2,408	43.7%	△ 897	3,305	52.6%		
短期借入金	1,464	26.5%	△ 900	2,364	37.6%		
その他の流動負債	944	17.1%	3	941	15.0%		
固定負債	1,024	18.6%	△ 479	1,503	23.9%		
長期借入金	623	11.3%	△ 540	1,163	18.5%		
その他の固定負債	401	7.3%	61	340	5.4%		
純資産合計	2,083	37.8%	603	1,480	23.5%		
負債純資産合計	5,516	100.0%	△ 772	6,288	100.0%		

●総資産 5,516百万円 前期末比(△772百万円)

流動資産 749百万円 前期末比(△183百万円)

◆有利子負債の返済等による現預金の減少他

固定資産 4,766百万円 前期末比(△589百万円)

◆2業態の事業譲渡及び遊休資産等の売却他

流動負債 2,408百万円 前期末比(△897百万円)

◆有利子負債の返済及び買掛金の減少他

固定負債 1,024百万円 前期末比(△478百万円)

◆長期借入金の返済他

●純資産 2,083百万円 前期末比(+603百万円)

◆当期純利益の計上及び第三者割当による増加他

平成21年3月期 損益計算書

(単位:百万円)

区分	上期		下期		当期				前期	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率		構成比
売上高	5,474	100.0%	4,692	100.0%	10,166	100.0%	△ 1301	△11.3%	11,467	100.0%
RC売上	4,315	78.8%	3,598	76.7%	7,913	77.8%	△ 901	△10.2%	8,814	76.9%
売上原価	2,123	38.8%	1,898	40.5%	4,021	39.6%	△ 434	△9.7%	4,455	38.9%
売上総利益	3,350	61.2%	2,795	59.6%	6,145	60.4%	△ 867	△12.4%	7,012	61.1%
販売管理費	3,001	54.8%	2,664	56.8%	5,665	55.7%	△ 533	△8.6%	6,198	54.1%
営業利益	349	6.4%	130	2.8%	479	4.7%	△ 334	△41.1%	813	7.1%
経常利益	359	6.6%	132	2.8%	491	4.8%	△ 197	△28.6%	688	6.0%
当期純利益	363	6.6%	92	2.0%	455	4.5%	△ 199	△30.4%	654	5.7%

●売上高 10,166百万円

RC売上 7,913百万円

景気低迷、2業態の譲渡、不採算店8店の閉鎖により、前期比10.2%減

FC向け売上 1,891百万円

新規2業態のFC開始も、景気低迷の影響は大きく前期比3.5%減

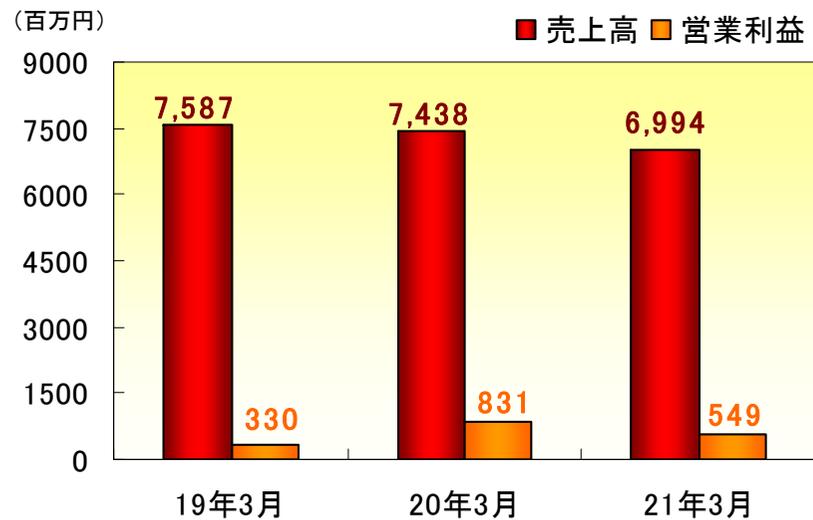
●経常利益 491百万円

前事業年度に続く更なる費用管理の徹底により、販管費は前期比△533百万円

しかしながら、売上減少をカバーするまでには至らず前期比28.6%減

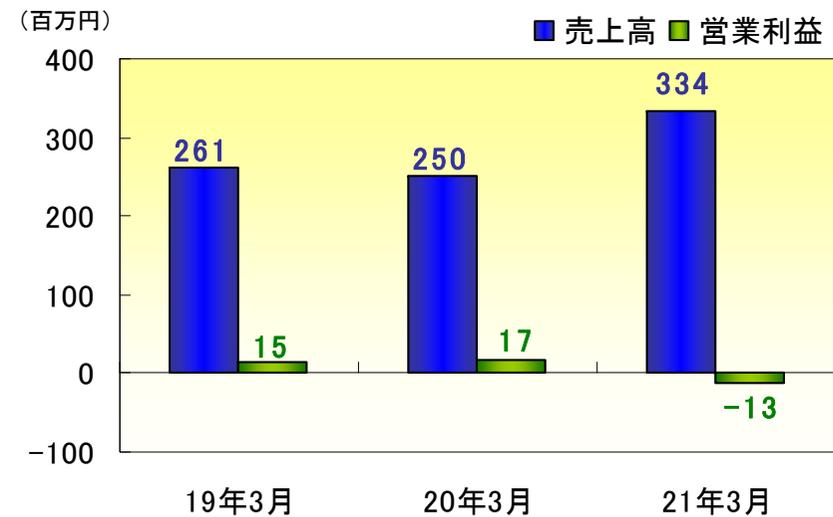
〈参考資料1〉店舗損益の推移(3ヶ年)

【焼肉業態の損益推移】



【その他業態の損益推移】

※まるさ水産、元町珈琲を除く。



平成21年3月期 キャッシュフローの状況

(単位:百万円)

科目	営業活動	法人税等	投資活動	財務活動	残高
当期	863	△ 113	223	△ 1,280	85
前期比	99.7%	-	-	-	30.5%
前期	866	△ 151	△ 281	△ 2,427	279

	当期	前期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1.税引前当期純利益	349	691	△ 342
2.減価償却費	229	237	△ 8
3.減損損失	160	2	158
4.貸倒引当金の増減額	△ 66	△ 431	365
5.固定資産除売却損	41	43	△ 2
6.賃貸借契約解約損	23	20	3
7.その他の営業活動	624	454	170
8.金融収支	△ 74	△ 113	39
9.法人税等	△ 38	△ 38	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	863	866	△ 3
投資活動によるキャッシュ・フロー			0
1.有形固定資産の取得	△ 241	△ 361	120
2.有形固定資産の売却	158	57	101
3.差入保証金の差入による支出	△ 61	△ 27	△ 34
4.差入保証金の回収による収入	11	46	△ 35
5.貸付金の回収による収入	25	20	5
6.その他の投資活動	331	△ 16	347
投資活動によるキャッシュ・フロー	223	△ 281	504
財務活動によるキャッシュ・フロー			0
1.短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 293	△ 140	△ 153
2.長期借入れによる収入	370	-	-
3.長期借入金の返済による支出	△ 1,517	△ 2,186	669
4.社債の償還による支出	-	△ 100	-
5.その他の財務活動	159	△ 1	160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,280	△ 2,427	1,147

■営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少63百万円などの減少要因もありましたが、税引前利益3億49百万円、減価償却費2億29百万円等の計上が主な要因となり、営業キャッシュ・フローは8億63百万円となりました。

■投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出2億41百万円、事業譲受による支出74百万円等の減少要因もありましたが、事業譲渡による収入3億56百万円、遊休資産等の売却に伴う収入1億58百万円の増加により、投資キャッシュ・フローは2億23百万円の収入となりました。

■財務活動によるキャッシュ・フロー

有利子負債の返済に伴い、短期借入金の減少2億93百万円、長期借入金の減少15億17百万円に対し、長期借入れによる収入3億70百万円等により、財務キャッシュ・フローは12億80百万円の支出となりました。

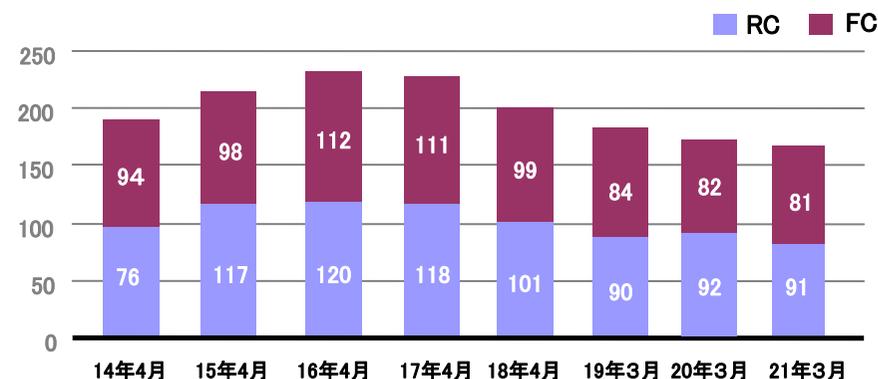
〈参考資料2〉店舗数の推移

【業態別店舗数】

		前期末	出店	退店	転換	当期末
焼肉屋さかい	RC	57	13	8	0	62
	FC	23	0	1	0	22
炭火焼肉屋さかい	RC	20	1	0	0	21
	FC	58	0	2	0	56
しゃぶしゃぶすきやき さかい	RC	2	1	0	0	3
	FC	0	2	0	0	2
牛丼屋さかい	RC	0	2	0	0	2
	FC	0	1	0	0	1
和牛焼肉坂井	RC	1	0	0	0	1
とりボックス	RC	1	0	0	0	1
ポテッチ	RC	1	0	0	0	1
鮮魚料理まるさ水産	RC	7	0	7	0	-
元町珈琲	RC	3	0	3	0	-
	FC	1	0	1	0	-
休業		0	0	0	0	0
合計		174	0	0	0	172
RC計		92	17	18	0	91
FC計		82	3	4	0	81

【店舗数の推移】

期末店舗数は前期末174店舗から2店舗減少。出店につきましては直営店17店FC3店、退店につきましては直営18店FC店4店舗と変動いたしました。



平成22年3月期 通期業績計画

(単位:百万円)

	平成21年3月期		平成22年3月期(計画)	
		構成比		構成比
売上高	10,166	100.0%	9,503	100.0%
営業利益	479	4.7%	651	6.9%
経常利益	491	4.8%	712	7.5%
当期純利益	455	4.5%	669	7.0%

【今後の方針】

- 既存店の集客力向上(競合店への対抗策、価格訴求、等)
- 老朽または不採算店舗のリニューアル(業態転換含む)
- 低価格業態の開発及び育成(大阪カルビ、その他)
- 新規出店戦略(シナリオ)の再構築

注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご承知おきください。

お問い合わせは以下までご連絡ください。

経営企画課 TEL(052)910-1729

【IR Web Site】 <http://www.yakiniku.jp/investor.php>